
一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会

平成25年度 社員総会 議案書

日時：2013年6月22日(土) 16:40～17:40
会場：東洋大学 白山キャンパス 6号館 6102教室

議事次第：

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議長団等選出（議長団2名、議事録署名人2名、記録者1名）

4. 議 事

議案 - 1 平成24年度 事業報告

議案 - 2 平成24年度 決算報告

議案 - 3 監査報告

議案 - 4 平成25年度、26年度 推薦代議員、理事・監事の選任等

議案 - 5 平成25年度 事業計画案

議案 - 6 平成25年度 予算案

議案 - 7 定款改正

5. 報告

1) 第16回（平成25年）全国大会（東北）開催案内

2) 第17回（平成26年）全国大会開催地

6. その他

7. 閉会

4. 議 事

議案-1 平成 24 年度 事業報告

平成 24 年度では平成 23 年度に引き続き、研究事業としてエコモ財団より移動・交通分野における震災復興調査研究事業を受託し、震災復興特別委員会（交通班）の活動と共同で調査研究活動を行った。東日本大震災復興関連事業では新たに復興活動支援助成事業を設け、公募により 4 団体を選考し活動助成を行った。その活動助成成果報告会は 3 月 18 日（月）に実施した。また、学会設立 15 周年記念事業として、6 月定期総会時にパネルディスカッション「福祉のまちづくりはどのように発展してきたか」を、平成 25 年 3 月には学術研究委員会主催の国際シンポジウムを堺市で開催した。また、平成 24 年度の全国大会である北九州大会を 15 周年記念事業として位置づけ、記念講演会、シンポジウム、研究発表活動等を活発に行なった。

さらに、15 周年記念事業として（仮題）「福祉のまちづくりの検証」と題する出版事業を立ち上げ、平成 25 年度中に刊行予定である。

この他、年 3 回の会誌発行、メールマガジン、各種委員会活動、特別研究委員会活動を通じて会員参加型活動、研究情報提供活動を行っている。

1-1 : 常設委員会

1-1-1 総務委員会 委員長 糟谷 佐紀

総会の運営、サイニイへの論文登録、事務局と支部・委員会との役割分担の検討、代議員選挙規約改正の検討、東北大会の支援（支部と国際文献社との調整：発表登録・論文投稿システム、CD-ROM 制作）等

1-1-2 会誌委員会 委員長 野口 祐子

(1) 学会誌発行

- Vol. 14 No. 2 (2012 年 7 月 15 日号) 特集：子育ち・子育てと福祉のまちづくり
- Vol. 14 No. 3 (2012 年 11 月 15 日号) 特集 1：第 15 回全国大会（北九州）報告、特集 2：視覚障害者誘導用ブルックの国際規格 ISO23599 について
- Vol. 15 No. 1 (2013 年 3 月 15 日号) 特集：東日本大震災復興調査報告その 3

(2) 会誌委員会の開催

- 2012 年 11 月 6 日（日本大学理工学部駿河台校舎）

1-1-3 論文委員会 委員長 岡田 明

(1) 学会誌への論文掲載

- 学会誌 Vol. 14-No. 2 (2012 年 7 月 15 日発行) : 原著論文 3 件
- 学会誌 Vol. 14-No. 3 (2012 年 11 月 15 日発行) : 原著論文 1 件
- 学会誌 Vol. 15-No. 1 (2013 年 3 月 15 日発行) : 原著論文 3 件

(2) 2012 年度 査読結果 (2013 年 3 月 31 日現在)

- 2012 年度投稿数 : 8 件 2011 年度からの査読結果および掲載持越し : 3 件
- 学会誌掲載 : 7 件
- 不採用 : 2 件 • 次号掲載決定 : 0 件 • 査読中 : 2 件

1-2 : 学術研究委員会

1-2-1 学術委員会 委員長 田中直人

(1) 15周年記念行事 連続シンポジウム企画

- ・2012年6月23日 15周年記念シンポジウム<東洋大学>
- ・2013年1月27日 こそまち委員会「南相馬から子育ち・子育てを考える」<日本大学駿河台>
- ・2013年3月22日 国際シンポジウム<国際障害者交流センター>
「ユニバーサル社会への生活支援と環境デザイン
—日本とデンマークの安全快適なまちづくりを考える」

1-2-1 (1) 法制度特別研究委員会 委員長 永元 真也

(1) 2012年10月31日(水曜日) : 公開研究会(会場: JICE会議室)

- ・障害者基本計画の10年を振り返り、新計画に何を求めるか—交通、公共施設のバリアフリーをめぐって—

(2) 2012年12月13日(木曜日) : 研究会(会場: TOTOテクニカルセンター)

- ・バリアフリー法建築設計標準のトイレ改訂のポイント
- ・改訂に対応したトイレ(空間・設備)の見学

1-2-1 (2) 情報障害特別研究委員会 委員長 原 利明

(1) 2012年5月14日(月) 2012年度第1回情報障害特別研究委員会<国土技術研究センター>

(2) 2012年5月14日(月) 情報障害特別研究委員会公開研究会<国土技術研究センター会議室>

(3) 2012年6月24日(日) 第3回音サインシンポジウムの開催<産業技術総合研究所臨海オフィス会議室>

(4) 2012年6月14日(水) 防災と情報バリアフリーセミナー(名古屋)、交通エコロジー・モビリティー財団と中部支部と共に

(5) 2012年6月24日(月) 防災と情報バリアフリーセミナー(大阪)、交通エコロジー・モビリティー財団と関西支部と共に

(6) 2012年7月11日(水) 音、路面サインの応用検証ミーティング<兵庫県立福祉のまちづくり研究所>

(7) 2012年7月31日(火) 音案内JIS原案作成委員会<産業技術総合研究所臨海オフィス会議室>

(8) 2012年8月24日(金) 防災と情報バリアフリーセミナー(北九州)、交通エコロジー・モビリティー財団と共に

(9) 2012年8月26日(日) 福祉のまちづくり学会北九州大会論文発表、<西日本工業大学>論文タイトル: 人的支援における視覚障害者の公的制度の現状と課題

(10) 2012年9月9日(日) 見えにくい方のためのユニバーサル機器展の共催<兵庫県立福祉のまちづくり研究所>

(11) 2013年1月7日(月) 15:00~17:00 2012年度第2回情報障害特別研究委員会開催<国土技術研究センター会議室>次年度以降の活動の体制について

音サインWGは、2012年度上期で終了。

※視覚障害者の視環境に配慮した建築計画に関するWG立ち上げのための準備会を3回開催。

1-2-1 (3) 福祉交通サービス特別研究委員会 委員長 山田 稔

活動なし

1-2-1 (4) 子育ち子育てまちづくり特別研究委員会 委員長 長谷川 万由美

(1) 見学会 2012年9月7日 大阪ステーションシティ見学会

(2) 意見交換会 2013年3月13日 子育ち・子育てバリアフリー教室用テキストに関する意見交換会

1-2-2 震災復興特別委員会 委員長 秋山哲男

■交通班の活動

(1)調査研究

- ①東北大震災地区視察：平成24年6月13日（水）～15日（金）までの2泊3日
- ②岩手県・宮城県の交通状況調査計画：平成24年7月22日～25日までの3泊4日
- ③平成24年10月4～5日：高台移転の山田町ヒヤリング調査

(2)セミナー

①震災と交通に関する調査報告・研究会

日時：2012年8月8日（水）13:30～16:50 <生涯学習センター（愛称ばるーん）>
内容：震災と交通に関する調査報告・研究会：調査の報告、災害と交通の講演 参加者：約60人

②第二回 被災地の災害実態と交通に関するセミナー

日時：2012.10.11（木）午後10:30～16:55、<仙台福祉プラザ>
内容：第二回 被災地の災害実態と交通に関するセミナー（移動困難者の交通災害時の避難と情報、被災地のまちづくりと交通計画）、参加者：約70人

(3)研究会：4回開催 7月4日、8月・9月にセミナーの準備に2回、最終まとめに12月に1回

(4)福祉のまちづくり研究に特集を組む

■住い班の活動

- (1)仮設住宅の標準化WG（責任者：高橋）
- (2)仮設住宅におけるコミュニティ形成の在り方WG（責任者：神吉）
- (3)障害者向け仮設住宅のバリアフリー化と改善手法の検討WG（責任者：川内）

<活動>

- ・住宅班会議・研究会：5月研究会、6月福島県仮設住宅調査報告「福島UD・結」富樫氏、9月研究会、11月研究会、2013年3月取りまとめ
- ・標準化WG：9月国交省住宅局住宅生産課松野氏ヒアリング、10月厚労省社会援護局総務課災害救助救援対策室、災害援助専門官、救援調整指導官日野氏ヒアリング、12月岩手県建築住宅課谷藤氏、地域福祉課総括課岡村氏、指導生保担当課菅原氏、障がい保健福祉課大坊氏、長寿社会課西野氏、政策推進室田山氏、岩手県視聴覚障がい者センター山崎氏、東北ミサワホーム株坂本氏、大和リース株岩手支店本田氏ヒアリング
- ・コミュニティ形成WG：5月、7月、10月、12月岩手県大船渡市泊里集落、西館集落仮設住宅居住者調査
9月、12月福島県いわき市下高久仮設住宅居住者調査
- ・仮設住宅バリアフリーWG：12月福島県仮設住宅調査、2013年1月宮城県亘理町調査

■福祉コミュニティ班の活動

(1)調査

被災地の障害者施設、障害当事者、支援者の状況について現地調査を行った。

①岩手県被災地障害者施設等状況調査：平成24年11月23日～26日

訪問先：被災障害者宅(4軒)、気仙苑、釜石市地域福祉課、四季の郷(大槌町)、ひかみの園(大船渡市)、JDF被災地障害者支援センター陸前高田(陸前高田市)

②宮城県被災地障害者施設状況調査：平成25年1月13日

訪問先：仙台市六丁目農園(就労支援A型)、山元町社会福祉協議会工房・地球村(就労支援B型)

③福島県被災地障害者生活調査：平成25年2月13日～16日

訪問先：いわき障害者就業・生活支援センター 相談支援事業所ふくいん、いわき自立生活センター

(2)セミナー参加：平成25年1月14日

被災地の障害者福祉施設支援を目的とするセミナーに参加

(3)研究会：調査立案、報告などのため研究会3回開催

1-2-3 学会賞選考委員会 委員長 秋山哲男

学術賞

- ・代表者:沢田 有希 <共著者:橋本 美芽> (2011)

「回復期リハビリテーション病棟に勤務する作業療法士が行う住環境整備の業務内容に関する研究」福祉のまちづくり研究 第13卷第3号

- ・代表者:植田 瑞昌 <共著者:三浦 春菜・三谷 千瀬・野村 歓> (2012)

「乳幼児の排便後始末に関する現状と課題～子育て層のオストメイト用汚物流しの共同利用に向けての考察～」福祉のまちづくり研究 第14卷2号

市民活動賞 :

- ・遠野市仮設住宅 希望の郷「絆」

代表者:狩野 徹(岩手県立大学)、鎌田 実(東京大学)

- ・お茶の水UD研究会

代表者:井上 賢治

1 - 3 : 支部

1-3-1 北海道支部 支部長 鈴木 克典

(1) 2012年5月26日(土) : 北海道支部総会(一般社団法人北海道開発技術センター)

(2) 2012年9月22日(土・祝)~23日(日) : 共催/第7回北海道ユニバーサル上映映画祭(北斗市総合文化センター「かなで~る」)

(3) 2012年11月9日(金) : 第5回北海道支部セミナー「移動の権利」セミナー(北星学園大学)

(4) 2012年10月28日(日) : 共催/札幌デザインウィーク2012×NUDA ユニバーサルデザインセミナー「人と雪と仮設住宅」~『福島からの提言』北国における応急仮設住宅を考える~(札幌市立大学サテライトキャンパス)

(5) 2013年1月23日(水)~27日(日) : 共催/展示会「キラメクカタチ」(旭川市民ギャラリー)

(6) 2013年2月2日(土)・9日(土)・10日(日)・16日(土)・23日(土) : 協力/雪はねボランティア大集合!(岩見沢市、上富良野町、三笠市)

(7) 2013年2月22日(土) : 後援/第12回「野生生物と交通」研究発表会(札幌コンベンションセンター)

(8) 2013年3月1日(金) : 第6回北海道支部セミナー 都市域における高齢者の安心・快適な住まいのあり方とは~サービス付き高齢者住宅:マザアス札幌を例にして(マザアス札幌)

1-3-2 東北支部 支部長 狩野 徹

(1) 2012年6月2日(土) : 支部総会(仙台市中央市民センター)

(2) 2012年9月25日(火) : 大会準備委員会(仙台市福祉プラザ)

(3) 2012年10月30日(火) : 大会準備委員会(みやぎNPOプラザ)

(4) 2012年12月4日(火) : 大会準備委員会(仙台市シルバーセンター)

(5) 2013年1月11日(金) : 大会準備委員会(仙台市シルバーセンター)

(6) 2013年2月21日(木) : 大会準備委員会(仙台市シルバーセンター)

(7) 2013年3月22日(金) : 大会準備委員会(みやぎNPOプラザ)

1-3-3 関東甲信越支部 支部長 佐藤 克志

- (1) 2012年6月30日(土) 11:00～12:00 2012年度関東甲信越支部総会
会場：宇都宮大学教育学部A棟 2階小会議室 出席者：13名
議事内容等：平成23年度事業報告、監査報告、平成24年度事業計画案、平成24年度予算 案、支部で企画するイベントの臨時勤務者時給単価など
- (2) 2012年6月30日(土) 13:30～16:30
関東甲信越支部第4回研究会「宇都宮でまちづくりを考える」
会場：宇都宮大学教育学部A棟3階マルチメディア教室1 参加者：17名
- (3) 関東甲信越支部見学会「羽田空港国際線旅客ターミナルのユニバーサルデザイン」
日時：2012年11月6日(火) 13:00～15:00
場所：羽田空港国際線旅客ターミナルビル 参加者：23名
- (4) 関東甲信越支部第5回研究会「アジア・中近東・アフリカのバリアフリー環境整備の現状と国際協力について考える」
日時：2012年11月11日(日) 14:00～
場所：日本女子大学目白キャンパス 百年館1階104教室 参加者：26名
- (5) 関東甲信越支部第6回研究会「ディズニーシー視察報告会」
日時：2012年12月4日(火) 15:00～
場所：日本女子大学目白キャンパス 新泉山館会議室 参加者：21名
- (6) 支部役員会の開催
第6回役員会 2012年5月7日(月) 18:00～19:30 日本女子大学
第7回役員会 2012年8月26日(日) 12:40～13:20 西日本工業大学
第8回役員会 2012年10月13日(水) 17:30～ 日本女子大学
第9回役員会 2013年3月21日(木) 18:30～ 日本女子大学

1-3-4 東海北陸支部 支部長 磯部 友彦

- (1) 2012年4月19日(木)：東海北陸支部設立総会及び勉強会
テーマ：バリアフリー基本構想作成状況等に関する現状と今後の進むべき方向について
(名古屋都市センター 11階会議室)
- (2) 2012年6月14日(木) 11:00～17:00：東海北陸支部 第1回セミナー
テーマ：災害情報とバリアフリー技術 (名古屋都市センター 11階ホール)
- (3) 2012年10月6日(土)：東海北陸支部 見学会 (介助犬総合訓練センター「シンシアの丘」、新瀬戸駅)
- (4) 2012年12月21日(金)：東海北陸支部 第2回セミナー
テーマ：高齢社会と高齢者モビリティー道路交通場面での課題と展開
(名古屋都市センター 14階会議室)
- (5) 2013年3月27日(水)：東海北陸支部後援 災害時要援護者の避難支援セミナー
テーマ：東日本大震災の被災体験を当事者視点で活かすには
(愛知県産業労働センター(リンクあいち) 12階中会議室にて)

1-3-5 関西支部 支部長 相良 二朗

- (1) 2012年5月7日：支部役員幹事会 (キャンパスポート大阪)
- (2) 2012年6月25日(月)：第37回日本福祉のまちづくり関西セミナー (テーマ：災害情報とバリアフリー技術に関するセミナー) (キャンパスポート大阪) 共催：交通エコロジーモビリティ財団
- (3) 2012年6月25日(月)：関西支部総会 (キャンパスポート大阪)
- (4) 2012年7月31日(火)：ひょうごユニバーサル社会づくり推進大会・第20回福祉のまちづくりセミナー、主催：ユニバーサル社会づくりひょうご推進会議、兵庫県・兵庫県立福祉のまちづくり研究所 (兵庫県公館) 後援

- (5) 2012年10月30日(火) : 第1回勉強会(テーマ:公園バリアフリーに関するセミナー)(神戸布引ハーブ園 ローズマリールーム)
- (6) 2012年11月12日(月) : 福祉施設の環境バリアフリーを考える、主催:日本建築学会環境工学委員会・環境設計運営委員会・バリアフリーデザイン小委員会(大阪社会福祉指導センター) 後援
- (7) 2012年11月17日(土) : 第38回日本福祉のまちづくり関西セミナー(テーマ:みんなで語ろう、車椅子の歴史から見る ひと・もの・くらし)(ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター)、共催:日本リハビリテーション工学協会関西支部
- (8) 2012年12月1日(土) : 神戸から考える災害とユニバーサルデザイン、主催:神戸芸術工科大学芸術工学研究所(神戸市デザインハブ KIITO)、後援
- (9) 2013年2月2日(土) : 日本福祉のまちづくり学会関西支部国際シンポジウム(テーマ:日韓の建築物におけるバリアフリー)(キャンパスポート 大阪 ルームD)

1-3-6 中国四国支部 支部長 今田 寛典

- (1) 2012年4月14日(土曜日) : 第1回セミナー(吳工業高等専門学校)
- (2) 2012年8月5日(日曜日) : 幹事会・支部総会
- (3) 2012年10月20日(土曜日) : 公開講演会(広島YMCA)
- (4) 2013年1月26日(土曜日) : 第2回セミナー(広島市安芸区民文化センター)

1-3-7 九州沖縄支部 支部長 齊場 三十四

- (1) 2012年4月19日(木) : 第3回全国大会実行委員会(西日本工業大学)
- (2) 2012年5月25日(金) : 第4回全国大会実行委員会(西日本工業大学)
- (3) 2012年6月11日(月) : 第5回全国大会実行委員会(西日本工業大学)
- (4) 2012年7月5日(木) : 第6回全国大会実行委員会(西日本工業大学)
- (5) 2012年7月27日(金) : 第7回全国大会実行委員会(西日本工業大学)
- (6) 2012年8月18日(土) : 第8回全国大会実行委員会(西日本工業大学)
- (7) 2012年8月25日(土)~27日(月) : 日本福祉のまちづくり学会第15回全国大会(北九州)
- (8) 2013年1月26日(土) : 日本福祉のまちづくり学会第12回九州沖縄支部大会宮崎大会(九州保健福祉大学)

議案-2 平成24年度 決算報告

収支計算書

平成 24年 4月 1日 から 平成 25年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 収入の部			
1. 会費収入	7,810,000	6,710,000	-1,100,000
正会員	7,500,000	6,402,000	-1,098,000
学生会員	240,000	152,000	-88,000
入会金	70,000	156,000	86,000
2. 法人会費	705,000	765,000	60,000
法人会員	640,000	690,000	50,000
賛助会員	60,000	60,000	0
入会金	5,000	15,000	10,000
3. 事業収入	3,350,000	1,542,414	-1,807,586
講演会・研究会による参加費	30,000	34,192	4,192
刊行物販売等	100,000	55,082	-44,918
広告収入	20,000	0	-20,000
論文掲載料・査読料	200,000	153,140	-46,860
研究委託費	3,000,000	1,300,000	-1,700,000
4. 前年度繰越金	4,688,219	4,688,219	0
5. 雑収入(利息等)	8,000	703	-7,297
収入合計	16,561,219	13,706,336	-2,854,883
II 支出の部			
1. 事業費	10,500,000	5,797,792	-4,702,208
全国大会支援費(九州25、東北25)	500,000	500,000	0
講習会等	200,000	0	-200,000
学術研究委員会:15周年記念連続シンポジウム委員会	920,000	471,814	-448,186
学会15周年記念出版事業・編集費	1,000,000	1,088	-998,912
震災復興活動支援費	1,000,000	778,442	-221,558
学会賞事業費	350,000	34,283	-315,717
会誌(論文含む、印刷、企画・450,000×3回)	1,350,000	798,000	-552,000
謝金(査読者謝金・5,000×20)	150,000	85,000	-65,000
ホームページ維持管理(委員会・支部支援含む)	600,000	4,725	-595,275
入会案内印刷(リーフレット)	150,000	0	-150,000
選挙関連費用(10-3月)	250,000	217,281	-32,719
学会体制検討のための作業	50,000	0	-50,000
支部支援費(7支部)	830,000	634,531	-195,469
総会運営費(資料印刷代、会場費、情報保障費)	150,000	119,015	-30,985
研究委託事業費	3,000,000	2,153,613	-846,387
2. 管理費	4,530,000	3,351,178	-1,178,822
事務局本部人件費	1,200,000	1,068,407	-131,593
事務委託費	1,000,000	882,000	-118,000
備品・消耗品費	250,000	61,992	-188,008
印刷費(封筒、会議資料等)	150,000	73,500	-76,500
通信費(切手代、宅配便、送金手数料)	150,000	86,799	-63,201
交通費(選挙関連含めて)	1,600,000	1,013,441	-586,559
税務処理費	100,000	76,000	-24,000
事務諸経費(会議費、雑費)	80,000	89,039	9,039
3. 積立金および積み立て繰入支出	200,000	200,000	0
4. 予備費	1,331,219	0	-1,331,219
当年度支出合計	16,561,219	9,348,970	-7,212,249
当年度收支差額	0	4,357,366	
次年度繰越金	0	4,357,366	

財産目録

平成 25年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目	細 目	金額	
		一般勘定	合 計
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
	(1) 普通預金		
	東京三菱UFJ銀行青葉台支店	46,600	
	みずほ銀行(震災復興委員会用)	1,780	
	みずほ銀行(震災義援金口)	134,609	
	(2) 郵便口座		
	(会費口)	4,382,529	
	(震災義援金口)	85,000	
	(3) 事務局預かり金	18,668	
流動資産合計			4,669,186
2. 固定資産			
(1) 積立金			
	(1) 普通預金		
	東京三菱銀行虎ノ門支店	2,500,199	
固定資産合計			2,500,199
資 产 合 計			7,169,385
II 負債の部			
1. 流動負債			
(1) 会費前受金		89,000	
(2) 預かり金		223,019	
流動負債合計			312,019
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負 債 合 計			312,019
正 味 財 産			6,857,366

議案-3 監査報告 (当日本資料には、添付の監査報告書挿入)

議案 - 4 : 平成 25 年度、26 年度 推薦代議員、理事・監事の選任等

1. 第二期代議員等の選任

1) 選挙による選挙代議員（20名）の確定：報告

平成 25 年 1 月 7 日理事会にて承認

秋山哲男、池田典弘、井上賢治、江守央、岡田明、男鹿芳則、小山聰子、金沢真理、北川博巳、古瀬敏、沢田大輔、清水政司、高橋儀平、田中直人、中野泰志、野口祐子、長谷川万由美、原利明、八藤後猛、横山哲

2) 選挙による支部代議員＝理事（7名）の確定：報告

平成 25 年 1 月 7 日理事会にて承認

鈴木克典、狩野徹、佐藤克志、磯部友彦、相良二朗、今田寛典、竜口隆三

3) 推薦代議員（10名）の「選任」

平成 25 年 2 月 12 日選挙選出代議員会議にて推薦

今西正義、岩浦厚信、岩田三千子、大塚毅彦、岡正彦、鎌田実、黒寄隆、高井広行、蓑輪裕子、吉田樹

4) 理事（10名）・監事（1名）の「選任」

平成 25 年 3 月 4 日（選挙選出・推薦）代議員会議にて推薦

理事：秋山哲男、池田典弘、小山聰子、北川博巳、古瀬敏、清水政司、高橋儀平、田中直人、野口祐子、八藤後猛

監事：黒寄隆

2. 平成 25 年度役員、委員長体制

1) 会長・代表理事

秋山哲男

2) 副会長

小山聰子、狩野徹、北川博巳、八藤後猛

3) 常任委員会委員長

総務委員長：池田典弘

論文委員長：岡田明

会誌委員長：蓑輪裕子

学術研究委員長：八藤後猛

4) 学会賞選考委員会委員長

小山聰子

5) 事務局長

清水政司

6) 特別研究委員会委員長

(1)震災復興支援・交通委員長：岡正彦

(2)震災復興支援・住宅委員長：狩野徹

(3)法制度委員長：男鹿芳則

(4)子育ち・子育てまちづくり委員長：長谷川万由美

(5)視環境・音環境計画委員長：原利明

(6)情報・コミュニケーション委員長：中野泰志

(7)地域福祉交通委員長：吉田樹

(8)国際委員長：北川博巳

(9)サイン環境委員長：田中直人

今後の学会運営の検討

1997年7月に日本福祉のまちづくり学会が発足してから15年が経過し、学会を支えるために様々な活動も増えてきた。学会運営についても、会員が少しずつ増加していることや、あるいは、活動が多様化・複雑化してきている。その結果、学会の役員が全体像を十分把握できていないことや会員もどのようなサービスが受けられるかも分かりにくくなっている。

これを機に、今までの活動を一度見直して、新たな取り組みや活動しやすいルールづくりなど行う時期にきたと思う。今年度は、(1) 将来計画を立てること、(2) 学術研究委員会の強化を図ること、(3) 国際特別研究委員会を再編すること、(4) 全国大会のマニュアル化、(5) 常設委員会の見直しを行うこと、などにより学会のオーバーホールを行いたいと考えている。またこれら委員会の検討には、学会の副会長がその任に当たっていただく。活動の具体的な内容を以下に紹介する。

(1) 将来計画委員会

将来（概ね5年後）の「日本福祉のまちづくり学会」の新しい体制づくりを検討する。主な内容は学会の向こう5年間の活動の基本方針や具体的な活動計画などの骨子の検討を行う。そのための検討委員会の運営を、小山聰子委員長（日本女子大学）、鎌田実副委員長（東京大学）にお願いし、前会長や副会長、各委員会の委員長等の力を借り、1年程度の検討を行いたい。今後の予定は、中間報告を作成し、会員の皆さんに意見を伺い、最終報告書は来年度に公開し、会員の皆さんと共有を図りたい。

検討課題の例として、例えば、障がい者の情報保障、子育ての方の学会参加の保障、国際化に対して会誌の論文や全国大会の論文はどこまで外国語に対応させるか、様々な学会等との協力関係、などが考えられる。

(2) 学術研究委員会

学術的活動は学会活動の要である。今まで、特別研究委員会の活動はそれぞれの委員会が独自に計画して進めることで成り立っていた。今後もこうした自律的な学会活動を支えるために、それぞれの委員会がどの様な活動を行っているのか、あるいは誰が活動のメンバーであるかなどを学術研究委員会が把握し、多くの会員が活動の実態を知っていただくことに努める。また学術研究委員会ではそれ以外の活動をどのように進めるべきかを議論する予定である。学術研究委員会は八藤後猛委員長（日本大学）にお願いし、メンバーは特別研究委員会の委員長などを中心にメンバーを構成する予定である。

(3) 国際特別研究委員会

今まで国際委員会は存在していたが、海外の人を呼ぶなどの活動があったが、必ずしも目標を明確にして活動していたものではなかった。今回の委員会は、まず目標を明確にし、我が国のバリアフリーの技術・政策等（世界的にもかなり優れており日本の中に埋もれている）をアジア・アフリカなどの途上国に積極的に普及するために、途上国の方に役立つ日本の成果を翻訳や講習会など、様々な活動を行う予定である。検討は北川博巳委員長（兵庫福祉のまちづくり研究所）を中心に検討していただく。また、交通系だがTRB（米国交通学会のアクセシビリティ委員会）等とも連携を図りジャーナルの出版なども視野に置いた議論をしていただく。

(4) 全国大会

特に全国大会は、担当の方にはかなりのご負担がかかる。今年度は、全国大会の狩野徹実行委員長（岩手県立大学）、岡正彦実行委員（東北福祉大学）を中心に学会開催の準備をしていただいている。これについても、大会開催のマニュアルなどを作成し、次に開催する人の労力の軽減を図る必要があり、今後考えたい課題である。

(5) その他の委員会

会誌委員会、総務委員会、論文委員会等の常設委員会も将来計画委員会での方針に従って、計画を考える必要が出てくる。

5-1 : 常設委員会

5-1-1 総務委員会 委員長 池田 典弘

定款・規程類の改正検討、委員会組織等の改革検討、一般会員・法人会員等の募集強化検討、東北大会への活動支援、サイニーへの論文登録、総会の運営等

5-1-2 会誌委員会 委員長 箕輪 裕子

(1) 学会誌発行

- Vol. 15 No. 2 (2013年7月15日号) 特集：差別禁止法、権利条約について
- Vol. 15 No. 3 (2013年11月15日号) 特集1:東北大会報告、特集2:音サインのJIS化
- Vol. 16 No. 1 (2014年3月15日号) 特集：未定

(2) 会誌委員会の開催

5-1-3 論文委員会 委員長 岡田 明

- (1) 論文委員および査読候補者リストの拡充
- (2) 論文誌の独立化に伴う表紙デザインの検討（会誌委員会と継続審議）
- (3) 論文投稿数増加対策

5-2 : 学術研究委員会

5-2-1 学術研究委員会 委員長 八藤後 猛

特別研究委員会の再編、連携イベント開催のための検討作業

5-2-1 (1) 震災復興支援・交通特別研究委員会 委員長 岡 正彦

1. 活動目的

被災地の移動送迎支援サービス等、モビリティサービスの実態を把握して移動困難(弱)者のニーズを調査するとともに地域福祉交通サービスのあり方と支援のためのニーズを検討する。

2. 活動内容

- (1)仮設住宅利用者の移動に関する動向や自治体の考え方、地域住民の将来への「希望度」など
- (2)東北福祉大学感性福祉研究所の私立大学戦略的基盤形成支援事業(文部科学省)との連携も視野にいれる
- (3)セミナー等は2-3回実施予定

5-2-1 (2) 震災復興支援・住宅特別研究委員会 委員長 狩野 徹

1. 活動目的

当委員会では、現地調査をベースに、標準仮設住宅の見直しとバリアフリー仮設住宅の検討、多様な仮設住宅団地のあり方の検討を進め、同時に、東日本大震災復興（再建）住宅の改善支援、まちづくり支援活動等を行う。現地活動は岩手県、福島県を中心に行う。

2. 活動内容

- (1)委員会活動（研究会）を年4回開催、他にWG単位での活動を適宜開催
- (2)公開研究会、シンポジウム等を開催
- (3)標準仮設の見直し案や仮設住宅団地構成案を提案する。

5-2-1 (3) 法制度特別研究委員会 委員長 男鹿 芳則

1. 活動目的

当委員会では、障害者権利条約、バリアフリー新法や、同法に基づく各自治体の委任条例、また障害者の差別をなくす条例、さらには制定予定の障害者差別解消法を概括しながら、今後の福祉のまちづくりの法制度について調査研究、提案を進めます。

2. 活動内容

- (1) 委員会活動（研究会）を隔月開催
- (2) 法律、条例等の制定状況や内容について調査やシンポジウム等を開催

5-2-1 (4) 子育ち子育てまちづくり特別研究委員会 委員長 長谷川 万由美

1. 活動目的

子どもの健やかな育ちと安全で安心できる子育てを支えられるまちづくりに関して、学会の学際的な特色を生かし、領域横断的に調査・研究を行う

2. 活動内容

- (1) 研究会3回(6月, 9月, 11月を予定)2013年度は障害児に焦点をあてる予定。
- (2) 「子育ち・子育てバリアフリー教室」の開催(時期未定)
- (3) 第4回子育ち・子育てセミナー (2014年2月を予定)

5-2-1 (5) 視環境・音環境計画特別研究委員会 委員長 原 利明

1. 活動目的

本委員会は、2012年度まで活動を続けてきた情報障害特別研究委員会の視環境計画WGと2012年6月に活動を終了した音サインWGの活動を発展的に継承するものである。

本委員会では、これまでの研究から浮かび上がってきた視覚障害者の空間移動時を整理し、空間計画の側面から、その解決策の計画技術とエビデンスを明らかにすることを目的とする。

2. 活動内容

- (1) 視覚障害者の空間移動時における情報利用の実態に関する調査研究
- (2) 上記調査研究に基づいた視環境・音環境の課題と、今後の整備に関する指針づくり
- (3) 視覚障害者にとっての音環境の課題とその整備の重要性に関するシンポジウムの開催（他学会と連携）
- (4) エコモ財団の光環境WGとの連携
- (5) 視環境・音環境に関する公開研究会の開催
- (6) 情報・コミュニケーション特別研究委員会との定期的な研究会の開催
- (7) 上記内容をとりまとめた出版企画の作成と実行

5-2-1 (6) 情報・コミュニケーション特別研究委員会 委員長 中野 泰志

1. 活動目的

「移動等円滑化の促進に関する基本方針の改正」では、「適切な情報提供」や「職員等の教育訓練」が明記され、情報・コミュニケーション環境の整備の大切さについての認識が向上した。しかし、整備すべき内容や事業者等への働きかけについては、まだ、十分とは言えない状況である。そこで、本委員会では、まちづくりにおいて、情報・コミュニケーション環境をどのように整備すべきかに関して、まず、様々な当事者の声を収集する。また、障害当事者団体等を対象としたニーズ調査、事例収集等を行いながら、具体的な環境整備について議論するための公開シンポジウムを開催する。

2. 活動内容

- (1) 視覚障害当事者が望む震災時に必要な支援に関するシンポジウム：全国の視覚障害者1,252人に対して実施した調査研究の報告を兼ねたシンポジウムを開催する。

- (2) 情報・コミュニケーションシンポジウム：全日本ろうあ連盟、日本盲人会連合、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会、全国盲ろう者協会の協力を得て、情報・コミュニケーションの問題を議論するシンポジウムを開催する。

5-2-1 (7) 地域福祉交通特別研究委員会 委員長 吉田 樹

1. 活動目的

これまでの「福祉交通特別研究委員会」では、STS (Special Transport Service) や DRT (Demand Responsive Transport) を主な対象に、国内外の事例や制度に関する研究が中心であったと思われる。ここ数年、過疎地域を中心に DRT の導入例は急増しているものの、福祉交通に眼差しを向けられることは依然として少なく、地方部の交通産業の疲弊、地方に届かない運輸のバリアフリー政策、災害時を含め、生活難民を一人でも減らせる包括的な活動機会保障策など、まだまだ「地域」を対象に、やらなければならない課題が山積している。そこで、本研究委員会の名称に新たに「地域」というキーワードを加え、研究者、実務者（会員・非会員を問わず）が垣根を越えて、各自の研究や実践を共有する機会（研究会や共同プロジェクトの開催）を設け、その成果を「地域」に還元することを活動目的とする。

2. 事業計画

(1) 委員会のメンバー公募

研究会委員および登録メンバーの人選、公募

(2) キックオフ・ミーティングの開催(1回)

研究委員会メンバー相互の研究や実践を共有し、本研究委員会における課題のターゲティングを行う。会場は東京を想定=交通費等は手弁当。キックオフ・ミーティングの前後に、研究会委員（幹事的な位置づけ）によるミーティングを行う

(3) 公開研究会の開催（1回）

キックオフ・ミーティングで設定した課題（例；おでかけ機会を支えるしくみ）をテーマにした研究・事例発表とワークショップを開催する。参加対象者は、行政の交通・福祉担当者、交通事業者、NPO、研究者、コンサルタント、移動に関心のある市民 など

- ・ 会場は仙台もしくは郡山を想定（全国大会@仙台とは重ねない；秋開催を想定）

5-2-1 (8) 国際特別研究委員会 委員長 北川 博巳

1. 活動目的

当委員会は、世界に向けた学会の情報発信、開発国とのバリアフリー支援体制の確立、わが国の福祉のまちづくりが展望できる英文資料（デザインノート・パンフレット）や英文ジャーナル発刊を中心に学会の国際交流に向けた具体的な足がかりをつくることを目的にする。

2. 活動内容

- (1) 委員会開催（年間4回を予定）
- (2) 国際交流に向けた方針づくり
- (3) 国際支援活動支援のための検討・資料づくりの検討
- (4) バリアフリー技術を中心とした英文刊行物の発刊にむけての検討
- (5) 国際活動の情報提供および全国大会での活動報告

5-2-1 (9) サイン環境特別研究委員会 委員長 田中 直人

1. 活動目的

高齢化や都市化の進展する中、多様な利用者にとって、安全快適でわかりやすい移動環境の実現が求められる。本委員会はこれに必要な人間と環境の生理的・心理的特性と環境の空間特性を考慮した基礎的研究の成果をとり上げ、さらにそれらを反映したデザイン手法の展開につなげる活動を主たる目的とする。

2. 活動内容

(1) 委員会の開催

年4回。関西にて開催する。既往研究についての勉強会を兼ねる。

(2) 大阪キタ・ミナミ地区の見学会、基礎研究成果についての研究会などの開催

(3) 大会におけるシンポジウムの企画

次年度への継続案として

(4) ガイドラインの提案

(5) 出版物の刊行

5-2-2 東日本大震災復興支援活動助成事業

平成24年度に引き続き東日本大震災の復興支援のための会員活動を助成する。事業は一般公募とし、概ね3～4団体を選考予定である。活動対象はグループ活動とし、具体的な復興活動支援、復興のまちづくり提案、仮設居住者の居住改善支援活動など、被災地の活動支援に直接関わる活動に対して助成する。

5-2-3 学会賞選考委員会 委員長 小山 聰子

(1) 今年度の学会賞（学術賞、市民活動賞）の公募、選考を行う

5－3： 支部

5-3-1 北海道支部 支部長 鈴木 克典

(1) 2013年5月：北海道支部総会

(2) 2013年9月：北海道ユニバーサル上映映画祭<共催>

(3) 2013年9月：北海道支部セミナー：動物の福祉を考える（仮）

(4) 2014年1月：北海道支部セミナー：ユニバーサルツーリズム（仮）

5-3-2 東北支部 支部長 狩野 徹

(1) 2013年6月上旬（土曜日）：支部総会（仙台市）

(2) 2013年8月24日（土曜日）：支部見学会（福島県被災地）全国大会のプレイベントとして開催

(3) 2013年11月上旬（土曜日）：支部事例報告会（山形市）

(4) 適宜（月1回程度）：大会準備 4月より実行委員会に移行予定

5-3-4 関東甲信越支部 支部長 佐藤 克志

(1) 支部総会

2013年6月15日 13:00～（首都大学東京 荒川キャンパス）

(2) 2013年度 関東甲信越支部 見学／研究会（総会時開催を含め、計4～5回を開催予定）

1)2013年5月30日 18:00～「ヨルダン・障害者のアクセシビリティ改善のためのアドバイザー活動報告会（共催）」（国際協力機構(JICA)本部+JICA関西）

2)2013年6月15日 14:00～ 第7回研究会「皆で協力して実現する福祉のまちづくり－合意形成を再考する－（仮題）」（首都大学東京 荒川キャンパス）

3) 実施検討中のテーマ：

- 福祉のまちづくりにおける合意形成
- 福祉のまちづくりをテーマとする研究室の情報交換会
- 国際動向についての情報交換
- 福祉のまちづくりに関する事例見学会 など

(3) 支部役員会の開催 (年4~5回)

5-3-4 東海北陸支部 支部長 磯部 友彦

- (1) 2013年5月12日(日)：東海北陸支部総会(名古屋都市センターにて)
- (2) 2013年7月：東海北陸支部 セミナーの開催(予定)
- (3) 2013年9月：東海北陸支部 見学会の開催(予定)
- (4) 2013年11月：東海北陸支部 勉強会の開催(予定)
- (5) 2014年2月：東海北陸支部 研究交流会の開催(予定)

5-3-5 関西支部 支部長 相良 二朗

- (1) 2013年6月頃：支部役員会の開催
- (2) 2013年6月18日：第39回日本福祉のまちづくり関西セミナー
- (3) 2013年6月18日：総会の開催
- (4) 2013年度：関西支部勉強会2~3回開催予定

5-3-6 中国四国支部 支部長 今田 寛典

- (1) 2013年5月：幹事会・支部総会・セミナー(広島文化学園大学)
- (2) 2013年7月：幹事会・学会大会実行委員会準備会(近畿大学工学部)
- (3) 2013年9月：学会大会実行委員会・セミナー(近畿大学工学部)
- (4) 2013年10・11・12月：学会大会実行委員会
- (5) 2014年1月：セミナー・幹事会・学会大会実行委員会(安芸区民文化センター)
- (6) 2014年2・3月：学会大会実行委員会

5-3-7 九州沖縄支部 支部長 竜口 隆三

- (1) 2013年秋頃：第13回九州沖縄支部佐賀大会(西九州大学)
- (2) 2014年2月頃：支部主催セミナー開催(九州看護大学)

議案-6 平成25年度 予算案

				(単位:円)
科 目		予 算 額	予 算 額	増 減
年 度		2013年度	2012年度	
I 収入の部				
1. 会費収入		6,800,000	7,810,000	-1,010,000
正会員		6,500,000	7,500,000	-1,000,000
学生会員		150,000	240,000	-90,000
入会金		150,000	70,000	80,000
2. 法人会費		810,000	705,000	105,000
法人会員		740,000	640,000	100,000
賛助会員		60,000	60,000	0
入会金		10,000	5,000	5,000
3. 事業収入		1,268,921	3,350,000	-2,081,079
講演会・講習会等参加費		80,000	30,000	50,000
刊行物販売等		60,000	100,000	-40,000
広告収入		20,000	20,000	0
論文掲載料・査読料		150,000	200,000	-50,000
研究委託費(2013年度はなし、H24エコモ不足分)		958,921	3,000,000	-2,041,079
4. 前年度繰越金		4,357,366	4,688,219	-330,853
5. 雑収入(利息等)		8,000	8,000	0
収入合計		13,244,287	16,561,219	-3,316,932
II 支出の部				
1. 事業費		6,780,500	10,500,000	-3,719,500
全国大会支援費(東北25、中国四国25)		500,000	500,000	0
講習会等		50,000	200,000	-150,000
学術研究委員会(10+印刷10+9委員会*12:情報補償4含め)		1,280,000	920,000	360,000
学会15周年記念出版事業(編集費・買取)		800,000	1,000,000	-200,000
震災復興活動支援費		600,000	1,000,000	-400,000
学会賞事業費		200,000	350,000	-150,000
会誌(論文含む、印刷、企画・450,000×3回+Vol.15-No.1未払分)		1,750,500	1,350,000	400,500
査読者謝金(5,000×30)		150,000	150,000	0
ホームページ等管理(予備費)		200,000	600,000	-400,000
入会案内印刷(リーフレット)		0	150,000	-150,000
選挙関連費用		0	250,000	-250,000
学会変更登記手数料		100,000	50,000	50,000
支部支援費(関東20+関西25+他5支部*12:情報補償含め)		1,050,000	830,000	220,000
総会運営費(資料印刷代、会場費、情報保障費)		100,000	150,000	-50,000
研究委託事業費(2013年度はなし)		0	3,000,000	-3,000,000
2. 管理費		5,080,000	4,530,000	550,000
事務局本部人件費		1,200,000	1,200,000	0
事務委託費(学会事務152+大会発表・論文登録・参加申込・CDROM作成39)		1,910,000	1,000,000	910,000
備品・消耗品費		100,000	250,000	-150,000
印刷費(封筒、会議資料等)		100,000	150,000	-50,000
通信費(切手代、宅配便、送金手数料)		100,000	150,000	-50,000
交通費(2回分)		1,450,000	1,600,000	-150,000
税務処理費		100,000	100,000	0
事務諸経費(会議費、雑費)		120,000	80,000	40,000
3. 積立金および積み立て繰入支出		200,000	200,000	0
4. 予備費		1,183,787	1,331,219	-147,432
当 年 度 支 出 合 计		13,244,287	16,561,219	-3,316,932
当 年 度 収 支 差 額		0	0	0
次 年 度 繰 越 金		0	0	0

議案 - 7 : 定款改正

学会住所の変更

定款の新旧対照表

(旧)

第2条 本法人は、主たる事務所を東京都港区に置く。

(新)

第2条 本法人は、主たる事務所を東京都新宿区に置く。

5. 報告

- 1) 第15回（平成25年）全国大会（仙台）開催案内
- 2) 第16回（平成26年）全国大会開催地

6. その他